



メタバースとドキュメンタリー： 人生経験の記録と共有に向けて

鳴海 拓志¹⁾, 畑田 裕二¹⁾, 明仁 絵里子²⁾
Takuji NARUMI, Yuji HATADA, and Eriko AKENI

- 1) 東京大学 （〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1, {narumi, harada}@cyber.t.u-tokyo.ac.jp）
2) テレコムスタッフ （〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22）

概要：メタバースはさまざまな人生経験をコンテンツ化して共有できる場であり，同時にさまざまな人生経験が展開される場でもある．さまざまな経験やメタバースで起こる出来事を記録し共有する方法論を確立していく上では，事実を記録することを目的としながらも，表現者の視点や意図が組み込まれて作成されるドキュメンタリーの方法論が参考になると考えられる．本セッションでは，ドキュメンタリー制作者を招き，制作者が何を意識してドキュメンタリーを制作しているかを共有していただいた上で，メタバースにおいて人生経験を記録・共有する方法論について一緒に考えていく．